婦人新報

二月號

第貳百七拾壹號目次

□英文　プレストン
□學生招待會　東京部會
□創立廿年祝會　大阪支部
□フランシス、ウキラード　大橋房子
□初旅の憶ひ出　宮川靜枝
□シンガポールの公娼廢止　古藤ふみ子
□理想に到達する準備　三輪田元道
□矯風會員諸姉に訴ふ　T、J、生
□生活の改造　淺田みか子
□矯風會の二大眼目　久布白落實

基督教婦人矯風會

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

（大阪支部年會）

社告

□婦人新報定（郵稅共）

一年分（前金）金壹圓也
半年分（前金）金五拾錢也
一ヶ月分（前金）金九錢也
（郵劵代用一割增）

□廣告料

一行（五號活字）金參拾錢也
一頁 金五圓也
半頁 金參圓也
四分ノ一頁 金貳圓也

振替口座東京三二四六九

編輯及事務所 婦人矯風會本部

大正九年二月十九日印刷
大正九年二月二十日發行
發行兼印刷人 矢島楫
編輯人 守屋東
發行所 婦人新報社
東京赤坂區新町三丁目四十六番地
婦人矯風會事務所
印刷所 東京京橋區銀座四丁目 福音印刷株式會社

No. 271 February, 1920

WOMAN'S HERALD.

CONTENTS

1. The Two Great Objects of the National W. C. T. U. .... Mrs. N. O. Kubushiro.
2. The Reconstruction of the Living. .... Mrs. M. Asada.
3. To the Officers and Members of the W. C. T. U .... T. J.
4. The Steps to Realize the Ideal. Mr. Y. Miwata.
5. Madam Yajima's Eighty Eighth Birthday. .... Miss N. Hayashi.
6. I Hear the Groans of the Darkness .... Miss S. Miyagawa.
7. Life of Francis Willard. .... Mrss F. Ohashi.
8. The Twentieth Anniversary of the Osaka Union. .... Mrs. K. Nishigori.
9. The Reception of the Students Tokyo Fukwai.
10. From the Editor's Room. ...... A. M.
11. English. .... Miss Preston.

FUJIN SHIMPO OFFICE.
No. 46, Sanchome, Shinmachi, Akasaka,
Tokyo, Japan.

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

矯風會の二大眼目

幹事　久布白落實

□酒造全廢の達關かんとす

矯風會は母心姉心を以て、社會に奉仕し、神のホームを地上に建設するを元來の目的として居ります、それを實現する手近き方法として、先づ國家から、有害無益な酒造の全廢と、腐敗のバチルス製造處なる公娼の全廢を期して居ります、この二大眼目に向つて、今日全國矯風會の主腦力は傾注されて居ります、今少しく今日の社會狀態を察して、會の方針の向ふ處を述べて見ませう。

本年の大會で、全國の會員が結束を堅うした、この酒造全廢の一事に對して、過去一ケ年の國運は非常なる進歩を來たしました、禁酒及び酒造全廢は、今や天下の大勢で、何人も之れを否とする事は出來ませぬ、然し此れが今日までの如く、凡べての式典の中心となつて居つては、如何に此處其處の隅で禁酒を呼んでも殆んど人の耳目に入りませんでした、然し永年の教育運動と社會の機運とは、熟し來つて、

□天杯下賜廢止

と云ふ喜ぶ可き報を耳にする到りました、民間に在つて私共は、内務の當局者其他が、諸外國の禁酒方案等を研究し、其結果を公表されしを見聞して、心を强うして居りましたが、此度天杯下賜が時局に鑑みて斷然廢止せらるゝに到つたと云ふ事は、實に當局の措置の肯綮に當たれるを物語るもので、感謝の外は有りませぬ。此事たる實に酒及び飲酒と云ふ事を、社會的權威の地より葬る第一歩で、國民的禁酒運動の進軍ラッパと見る可きものです、曩に米國白亞宮の酒使用禁止が斷行せられ、英國皇室此れに賛せられ、今又我國の皇室民衆に先んじて天杯下賜を廢止せられしとは實に喜ぶ可き極みと申さねばなりませぬ、私は日本國民の

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

一人として、當局に向つて滿腔の感謝を捧ぐるものです。

□未成年者禁酒法案好望

國會開催毎に撓ず屈せず、此の法案を提げて奮闘苦戰せられし、根本代議士は、本年も亦必らず此れを以つて議會に於て戰はるる事と思ひます。昨年は終ひに衆議院を通過せしにも係はらず、如何なる不明か、貴族院にて否決の運命に終りました、然し今年は必らず通過せずしてはやまぬ決心と、希望が有るとの事を耳にし喜びに堪へざるものです、米國の富と勢力を以つて其少年青年男女に酒害の教育を徹底せしめ、其國より酒を驅逐して第二のアングロサキソン民族を大々的に世界に雄飛せしめんとする矢先きに、我國が、赤兒さへ酒に浸して育つるやうでは、到底其競爭に堪ふべくもないと信じます、少年部長、守屋東姉が十數年間鷄鳥の雛を育む如く全國一萬五千の少年少女を其翼の下に抱いて、恐る可き酒害と戰つて來られましたが實に時節到來、此の法案の通過を見、且つ上皇室より此の弊風に對して、反對の旗幟を明にして立たるゝの聖代に邂逅し、民族の將來に對し云ふ可らざる喜びを感ずるものです、此れについても今日の急務は

□公私學校に於ける禁酒運動

です、幼年禁煙法案が通過しても、其實施に困難を感ずるは、煙害の教育が徹底せぬ爲めです、此度未成年者禁酒法案の通過を見る曉には、最も必要なるは、公私學校に於ける教師の態度です、若し教師にして酒に對する知識が不充分で、又此れに對する嗜好を制する事が出來ぬ時は、生徒に對して充分なる教育を施すことは實に困難の事となりませう、全國の小學校、中學校教課書中に、最新科學の研究の結果を入るゝ事、併びに師範の學生に酒害についての教授法を夏期講習としてゞも授くると云ふは、最大の急務では有りますまいか、全國の支部は各地に於ける學校及び教師に對し、出來得る限りの援助を與ふるやう常に準備して居り度いものです。

□國民禁酒會の勸誘

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

此程神戸及び大阪の有志の間に、國民禁酒會なるもの、組織を耳に致しました、此又實に喜ぶ可き事と思ひます、元來酒など、云ふものは、一種の國民的風俗習慣と手を携へて居るもので此れを全滅するには、是非とも大々的組織の下に國民運動が起らなければなりませぬ、阪神地方の人士が此處に見る處あつて、此の擧に出でられた事は、誠に時機に適する行置と喜ばねばなりませぬ、此度英國に於て萬國矯風會大會を開かんとするに際し、矯風會は百萬弗の資金を集めて、全世界に禁酒、酒造全廢のプロパガンダを爲さんとして居ります、支那の如きは年々一萬弗じ、五ケ年の計畫を以つて特使を派して、運動する事となつて居ります、我國にもガンディヤ氏の如き、特に此の目的の爲めに渡航して居られます、私共は此機を逸せず、最も近き將來に於て我國をこの酒の咀より救ひ度いものと思ひます。

□公娼全廢の道や、開く

公娼全廢は、禁酒運動に比して、其門戸は未だ中々開き得ざる狀態です、然し仔細に社會の表裏を覗ぶる時、此事又決して爲し得ざる事でない、必らず成るの日が來りつ、有る事を歡過する事は出來ませぬ、雨の滴の如くこの四ケ年間繼續し來た五錢袋の如き今日では全國の府縣北は北海道天鹽より南は沖繩、朝鮮、大連に到るまで、又北米合衆國沿岸よりも之れに應ずる人が少く有りませぬ、歩一歩と此の問題に對す注意が喚起され、從つて、各地に於ける醜業婦問題、男女、性の教育、純潔に對する教育の必要、法律上男女不平等に對する不滿、養女の制に對する反對運動、處女を犯す男子の處罰等、少しづ、世人が男女道德に對して其目を醒まし來つた事は爭ふ可らざる事實です。

□實戰の經過

輿論の喚起は、やがて集つて實戰を呼び起す事を疑ひませぬ、私は目下各府縣の支部及び宗教女學校、及び教會を中心として凡べての活動を集注して居ります今年は、東京市の宗教女學校は、殆んど全部訪問して職員、生徒諸氏に志を訴へました、已に三ケ年に亘つ

Digitized by Google

Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

て此れを爲した處も一二ヶ所では有りませぬ、其他數十ヶ處の婦人會も訪ひました、百五十餘の市內の敎會には已に全部五錢袋を依賴しました、今全國に散在する千有餘の各派の敎會に當て、更らに運動を開始して居ります。支部、學校、敎會については、今年大會前に新らしき一つの試みとして、全國宗敎學校同窓生五千名を撰んで、一々手紙を以てプロパガンダを試み度いと思つて居ります、中堅の婦人の自覺、これが此の運動の目指すべき第一歩です。

各府縣の內に統一せられたる運動の起る事は年來の宿望ですが、未だ其機に達しませぬ、然し一歩々々の地ならしは、必らず地響を起さずしてはやまぬ事を堅く信じて居るものです、米國禁酒運動の如く、婦人投票權と相前後するまで戰ひを繼續せねばならぬかも知れませぬが、我が國の婦人が、其同性を見殺しにせぬ程度までに進む丈けでも、運動の効果を無視する事は出來ませぬ。

□各府縣に救濟事業の必要

實戰に伴ふて必要なるは、各府縣に於ける救濟事業の必要です、私は全國五百四十八ヶ處の廓に對して、少くとも各府縣に一箇處の救濟處、ホームの必要を感ずるものです、其規模は必らずしも大なるを要しませぬ、二三人でも四五人でも、乃至十數名でも、土地の狀況に從ふて適宜にこれを催し、自由に廢業せしめ、然して之れに靜かなる生活と、職業と信念とを與へて再び心身の健康を復し、健全なる生活に立ち返らする道を講ずる事です、慈愛館は先づ其手始めを爲て居ります、廣島のホーム、神戶の城氏の同情會等處々に此種の試みの始めらるゝ事は實に感謝に堪へざる事です、私共は社會の負傷者たるこの不幸の姉妹に對し、是非とも各縣下に一ヶ處づゝ位は、其遁れ場を用意する覺悟が必要であると思ひます、社會に對する婦人の自覺が覺醒さるゝ曉には、酒造全廢、公娼全廢、救濟事業、何れも必らず踵をついで起り來る事を信じて疑はざるものです。

大正九年一月卅一日稿

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

生活改造

本部會計　淺田みか子

一般中流社會は、收入の増加よりも、支出の激増のために、今日は大に惱まされて居ります。之を救濟するには、可成多く支出せぬやうに心懸けて、一方收入を増加するやうに謀らねばならぬと思ひます。

支出を減ずるにはどうするか

一、冗費を省く、自分の周圍にある自己所有物は、自分の努力に對して神から與へられたるものである故に、これを大切に使用せねばならぬ。一度使用するのみならず、二度三度も使用して、愈廢物になつた時には、これを捨てゝも猶他を利するといふやうな、捨て方をしなければならぬ。たとへば一個の空箱、空籠の如きものでも、綺麗なものは、他の入れ物に使用致しますが、蜜柑箱や粗き竹籠の如きものは、無暗に掃溜めに捨てずして、これを細かく碎きて、薪の代りに焚けば湯が沸きます。其灰は樹木の肥料になります。

雑巾水の如きでも、徒らに下水に流さずして、これを樹木の根に持つて行つて、掛けてやりますと、樹木は大に喜びます。私方の井戸端の處に二本の青桐の樹が御座います、一本は井戸端に近く一本は少し離れて居ります、下女が捨てる洗濯水や、雑巾水を徒らに下水に流さずに此樹に、かけてやるやうに命じて置きました處、下女は近い方の樹にのみかけてやりました。處が二三年を經たる今日では、同じ大さの青桐でありましたものが、始終水をかけられた方は、かけられぬ方のよりも、高さといひ太さといひ倍以上も大きくなりました。一寸の心づかひで樹木をしてこれほどの生長を助けてやることが出來たかと思ふと、實に見る度に愉快で御座います。誰も殆ど意に留めぬ汚水の捨て

方に於ても猶且つこれだけの捨て方があるとすれば、況んや日常取扱ふ諸物品に於ては二様にも三様にも、賢こき利用法のあることを皆様が御考へになりましたらば、家庭で使用する物品は左程新しきものを買はずとも、種々利用することを得て、金錢の支出を減少することが出來やうと思ひます。

(イ)廢物の置き場所。廢物といふものは其時には要らぬものでありますから、邪魔になる故に、すぐ捨てる氣になります故、これを置く所を作る必要が御座います。其場所は、普通押入れの上の小壁の處に猶一ッ戸棚を造るのであります。或は物置き小舍の周圍の羽目に棚を釣つても宜しう御座います。菓子の折、果物の籠、其他種々の包紙等何でも廢物はよく整理して此所に入れておきます。さて何か入用が起つた時には、此所を明けて見る時は、丁度其要求に合ふ箱、籠、包紙などを見出すことが出來て、まづ買はずに濟んだと思つて愉快に思ふもので御座います。殊に紐類などは、平生一寸しても需用の多いもので御座いますから、一定の空箱に入れておく時は、大に便利で御座います。

(ロ)家具の整理――すぐする主義、毎日使用する家具の一寸傷んだ時、例令へば箱の一片が破れたとか、蓋の棧が取れたとか、いふ時に、直ぐこれを修繕することが必要です、面倒だと思つて戸棚の片隅に投げ込んでおく、遂には邪魔になつて捨てゝ仕舞ふ、或は破れたるまゝ使用して居り、修繕せんと思つて、缺けらを尋ねる時に、それが無くなつて居つたりする、故に何でも破れたら、何を差し置いても直ぐに其修繕に取りかゝる、箒や、はたきの紐が切れても、すぐ付けておく、下駄の鼻緒がきれたら、すぐたてゝおく、何うせ一度はしなければならぬことは　長く放つて置いて不自由するほど損です。

又家具を持ち出して使つた時も、使ひ仕舞つたら、すぐ、元の場所へ戻しておく、掃除する時に其室にあるべからざるものが出て居つたら、一々其品物を其在るべき所へ戻してから掃除にかゝる、戻す場所が遠いから一寸こゝに置くといふ主義では其室の整理が付きませんし、又物品の紛失する元で御座います。入用な時に其在るべき場所にない、さがす、何處かで見たやうだつたと人にも聞き、さがし廻る、こんな時間つぶしはないのです、物を元の場所へ返すといふことは一

く々面倒なやうでも　さがし廻ることを思へば何でもないのです、足袋靴下の繼ぎも洗濯物の綻びも、洗濯した度びに一寸手を入れておく時は、少しの時間で修繕が出來ますが、透き切れたまゝ或は破れかゝつた儘使用する時は、その破損が大きくなつて、遂には手が付けられなくなる、修繕したものは丈夫でいつまでも使用出來ますが、修繕しないものはぢきに役に立たなくなります。衣服などに一寸醤油をこぼすとか、其他何かで汚した時に、それが乾かぬうちに、直ぐ洗ふ時は取れますが、これを暫く放つて置いて後は、いくら手數をかけてもなか〳〵除れるものでは御座いません。疊の上や板の間へ何かこぼしても、これをすぐ拭く時は除れますが、程經てからでは浸み込んで、汚き型が殘ります。病氣も一寸最初に手當てすれば、直ぐ癒りますが、嵩じさせて後は、なか〳〵癒らなくなりますばかりか、終に生命を失ふに至ります。萬事に亘り物が逆境に行かんとせし時には、これを順境に戻すために、直ぐ着手するといふことを主義としたいと思ひます。これは物を建全に永く使ふ一種の方法で、つまり經濟の道で御座います。

（ハ）衣服の整理——捨てる所のなきやうに、日本の衣服は度々張り返へし縫ひ返へして着るのは慥かに長く持ちます、いよ〳〵用ゐられなくなつた曉には、これを解く、解く時にもよく注意して、長き糸は膝の右に、短かき糸は左にといふ風にしておき、長き糸は又使用し、短きものは暇ある時に繼ぎ合せて毬にしておき又便利な使用法を見出す時まで仕舞つて置きます、解きたる衣服は表裏と離します、表には襟が付き居りますけれども裏には襟の付き居らぬ子供のものなどは洗濯の時に襟肩が破れる恐れがありますから、三つ襟をこゝに縫ひ付けておきます。さて洗濯してもう衣服にならぬほど弱つて居るならば、雜巾に致します、襟や衽や細々した處は、糊張りにしておけば三つ襟や紐の眞になります、いよ〳〵透き切れて雜巾にもならぬものはボロ箱に投入します、此ボロは汚穢物を拭いて捨てたり、敷居へ油を布く時に用ひたり、種々の用を致します、一枚の衣服の中に一寸の切れだに捨つる所はないのであります。其他こま〳〵した共切れは、菓子の空箱などに區別して入れて置きます。即ち共切れ類、白布類、赤き切れ類、裏地類、フランネル類、友禪類、紅絹類、甲斐絹類、メリンス類、縮緬類、縞類、三ツ襟類、紐眞類、袖口及襟類等の如く記した箱に小切を

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

入れ、更に大なる切れは呉服紙に包んで是も亦種類を分けておく。かうして置くと積りものをする時にも裏地類は買はずに、少々は繼ぎ合せても間に合ひ、又色紙をあてる時にも、何の切れが要るかが、すぐ分り、さがすひまもなく、すぐ得られますので、大に時間の經濟になります。

又シャツなどの古きものは兎角、肩の邊から手の方が破れますから、これは脇の下の所で切つて、上はボタンを取り開いて雜巾になるものは雜布になし、ならぬものはボロ箱に入れます、下はまだ丈夫ですから猿股に製します。さういふ風に何でも二代も三代も使はれますから、物は一代で決して捨てぬやうに致したいもので御座います。これ神の與へ給ひしものを最も有効に使ふことになり感謝を深くすることになります。

（二）紙類の整理――新しき紙を使はぬやうに。家庭に於て最も多く亂雜になり易いものは紙類で御座います、小包紙進物包紙、印刷物、書狀、反古、其他種々あります。これは盡て紙屑籠へ投げ込めば、それ迄ですが、これを利用しやうと思ふ時は、なか〳〵整理の餘地があります。

まづ包紙でも小包用に出來るものは、定めたる入れ物に入れ置き、進物包紙は丁寧に伸ばして箱に入れ置けば二度使用出來ます、水引も熨斗も同樣です、印刷物は裏の白きものは一定の箱に入れて置き、或は紙夾みで綴ちて置いて備忘錄にしたり、種々の用を書いたりします、書狀も保存するものは讀み終ると直に一定の箱に入れ、保存せぬものは別の箱に投入して夫々使用します。反古紙即ち半紙類の書きつくしものの中、楮半紙は丈夫ですから、糊張り類に用ひられ又種々使用に調法です、改良半紙は子供等の家庭用鼻紙や其他に利用出來ます。斯の如く一々區別して、手に取るや直ちに定められたる箱に投入する時は、少しも亂雜になることなく、又よく流用され盡されるもので御座います。

かくして古きものを使用する時は、新しき品を買ふことが非常に少なくなり、支出の額を大に減少することが出來ます。かくて新しく買はねばならぬものは、公設市場の如き處へ行つて成るべく格安のものを買ふやうにすると、日常の經濟に於て、大に得る處があります。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

何と答へらるゝ歟（寄書）

矯風會員諸姉に訴ふ

鹿兒島　T・J・生

破れかけた壁土の中にも、嵐に吹荒された畠の中にも、むく〳〵として只生きる事に對しての眞摯な努力のみを呼び起させる田舎人の心にも都會から流す恐ろしい事は少しの躊躇もなく襲つて來る。働く事と食ふ事とに事缺かなければ人生に於ける不足はないものとさへ考へて、日々其業にいそしみ、綺羅美に裝ふ事の美はなくても、汚れたごろごろした平常着の中に云ひ知れぬ美さを見せてゐた田舎人の口からも、此頃は「往かうか戻らうか」だの「命短し：……」だの云ふ淫な歌が屢々聞かれる。やがてそうした空氣に浸りつゝ人となつた若者達の心には未だ見ぬ都とやらは、こんな歌に飾られて美しい事のみに充たされてる所と早合點されて、只理由もなく都を憧れてる爲に、その若者達の將來が如何に成行くかは最早申す迄もない。日本婦人矯風會が此の點に先づ氣附かれて罪に對して大きな戰を起されたことに對しては私は衷心から我國民の爲に感謝もし、若し許されるならば出來るだけの御助をも厭はない心算である。殊に最も難關たるべき禁酒を叫び公娼撤廢を云ふに於て、世に澆季を說く者近時往々ありと雖も吾人大に意を强ふし得るものである。將學上、社會道德上から見ても我々の住む國が禁酒國であり、公娼皆無の國であつたならば如何にか美しいことに相違ない。その美はしい國を作る事を理想として奮起されたる矯風會員諸姉は實に日本が二度と得難き大恩人であるは今更贅言を要しない。

□酒が齎らす所謂慰安

禁酒果して可能なりや、曰く可能である、併し現今の如き禁酒勸誘方法にても果して可能なりや？此の一事は充分に諸姉に考へて頂きたい、私は幸にしてクリスチャンの家庭に生れた爲に今迄に酒で生活する事

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

を知らないからして、大きな旗を立てゝ帝都の眞中に行列を作つて廻られても、それと同時にその時から直ぐに酒を止めろと云はれても私は別に苦痛らしいものを感じない、今酒を飲んでゐない者が酒を止めろと云はれても何も痛痒を感じないのは當然である、それは丁度菓子を知らない赤ん坊に菓子を食べるなと云はれても別に苦痛でないと同樣である、併し菓子といふものがあるのを知り、それが美味いことを知つた後に食べるなと云はれるのは中々辛い。禁酒問題は酒なしの生活をしてゐる者に對して說くのではなくて現に酒に親しんでる人を相手にしてるのであるからして當然後者の苦を免れない、そして菓子とは違つて酒は好嫌は先づ云はぬとしてもそれが齎らす所の所謂「慰安」——私は假に慰安と呼ぶ——なるものは全く別種のものである。

□勞働者の飲酒に對して

私は鄉里を北部九州の炭坑地近くに持つてるために屢々接する機會があるが彼の炭坑の坑夫などは地下幾百尺の暗い坑の中で一歩間違へば命をも取られるかもしれないといふ恐怖に襲はれ、續けた一日を送り先安心と妻子の顏を見てさて口にするものは何であるか、アルコールを多量に含む酒と金の山をくずす樣な賭博の話に外ならない、そして終日襲はれて來たあの恐怖を去つて蕩然たる氣分にならうと即ち「慰安」を求めやうとするのは實に然るべき事ではあるまいか、「お前は終日仕事をして來たから今からは少し修養のために本でも讀め」と云ふても其が彼等の耳に透らないのが當然である、彼等が求めるのは晝の境涯を全く忘れた氣分である、それを幸にも酒が媒介してくれる、然るに若し其人達に向つて「貴君、酒は體に毒だからお止めなさい」と云つた所がそれがどれだけの力を持ち得やうか、毒を食へば死ぬ位の事は彼等でも知つてゐる、併し死ぬ事を何も彼等は夜だけ恐れる事でない、終日坑の中では死より外に襲つて來る物はないのである、そして酒を飲むと賭博をするとより外に彼等を喜ばす娛樂はないのである、此は只炭坑々夫のみに限らず殆

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

ど凡ての勞働者生活と云ひ得るのである、私は此で敢へて問ひたい、斯る狀態にある者等に對して矯風會は如何なる態度に出られたか？又出られつゝあるか？答へられるであらう、「そんな人は少數だから大事ない」と、又云はれるであらう「我々は少年禁酒軍なるものを起して酒の味を知らぬ新國民を敎育して行くからして今日は假令そんなに非道い人達も少年禁酒軍人が人となれば大丈夫そんな事はない」と。

□勞働者は少數ではない

然し私はそれに對して一言しなければならない、勞働者は決して少數でない、而して新にこうした生活―勞働者生活―に這入る人達が少年禁酒軍の出であるにしてもあの恐ろしい恐怖に襲はれ續ける時に能く酒なくして生き得るであらうか、矯風會員は其を見て意志薄弱と云はれるかもしれない、それは意志薄弱に相違ない、けれども若し諸姉がこれだけの恐怖に襲はれた時を考へられたら直に一片の同情が湧くと思ふ、或は云はれるかもしれない「其時私は聖書を讀む」と、可也、然に眼に一丁字なき徒に聖書の何處が共鳴和鳴を與へ得るであらうか、毎日高い檣の上で受ける脅迫的死の恐を若し忘れ得る物があるならば其人は直に其に走るのは當然である、其時になれば少年軍も何もあつたものではない、私は又問ひたい、矯風會の人達が盛に活動されてどし／＼數字上に於て成績を擧けて行かれつゝある禁酒事業は實際上どれだけの割合で効果を得てゐるであらうか、成金的氣分で酒を喜んだ遊人が一朝倒れて失敗した爲の悲哀から來る眼醒めに、丁度矯風會の禁酒運動が遭遇して宛も大勝利でも得た樣に思つてる人はないであらうか、私は私自身一滴の酒も飮まないのにこんなに酒呑みに同情ある樣な言を吐くのを不思議に思はれるかもしれない、若し不思議と云はれるならば私は其方に申したい、

□禁酒問題と勞働問題

現今の矯風會禁酒運動はまう一歩奧へ這入らなくては其目的は達せられないと、まう一歩とは何を云ふ？「飮酒をするとこんなになりますよ」といふ手酷しい

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

程の「てらしめ」を見せつけて、日本國中を巡回される位ならば、まう一歩を進めて「何故に酒を飲むのか」、「酒を飲まない爲に彼等が受けるであらう生活の大きな缺陥は何を以て我等が埋むべきか」流行語で云へば彼等の生活狀態の改造から、もつと矢釜敷く云へば勞働問題の根本義から始めなくては何百年後迄此事業が續けられても完全に禁酒が實行される時は來らないのである、然しさう云ふと又諸君は云はれるであらう、「已に世界には幾多の禁酒國があるではないか」と、然り幾多の先進禁酒國あり、(敢て先進といふ)然しそれは極く極限された局部の法令の上だけで事實內幕に入つたら、如何?私は具體的實例を云ふに忍びない、政府的壓力の及ばない所に温い矯風會の眞に活躍しなければならない舞臺があるのではあるまいか、

□眞の同情同感

新報紙上でM姉の「初旅の思出」を私は已に數回に渡つて讀み、又某氏の島原方面視察の報告も聽いた、貴重な時間を割いて働盛りの今をあゝした事に費して下さる美しい博愛の人の貴い血に私は滿腔の尊敬を拂ふけれども、姉等一行は何故に浦鹽の娼窟を恐ろしいもの怖いものとして見られたのであらう、金を使ひ時を費して行かれたのならば何故に彼等の心理的狀態に迄攻入つて頂けなかつたのであらう、只一つ或る宿屋の女中との會話が載せられてるだけでは恐ろしく物足りない報告文である、元來こうした仕事は同情をこめた熱誠が勝利を占めるものである、私は姉一行の中に充分の熱誠を認めないのではない、娼婦の仕事が恐ろしい事であるから止めさせるのでなくて、同胞—同じ日本人など云ふ狹量の意でなく、世界人の立場から、只言語が良く通ずる便宜、理解の爲に吾人の奮起せるとの考でしたる彼等を愛するの一念がある時、その可愛い、同胞を沈倫のどん底から救ひ出さうと云ふ只一瞥でもいゝ同情同感が發する時始めて成功するのである。

□徹底せる處に善を築け

禁酒問題は勞働問題に迄觸れて居る、金に對しては

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

娘を賣る事がどれ程に罪惡であるかを今の親達に知らしめるのは先づ應急の手當にしかならない、私が諸姉に進んで頂きたい道は決して公娼の現狀調査ではなくて彼等を弄ばんとする男子の性慾の敎育から、開始して貰ひたい、公娼全廢問題は私に云はしむれば日本人の大部分―殊に高位高官、或は中流生活者であつて我々は押も押されもしない代表的人物なりと頑張る人達―の生活の改造、國民としての趣味の高上から起して行かなくては到底その目的は遂げらるべきものではない、諸種の婦人雜誌に表はれてる婦人―Oldmiss でなくてMrs.になつてる婦人―の惱は主人から愛される愛されないの惱よりも夫の不品行の爲に起る家庭的の波瀾を訴へたものが一番多いのを見ても先づ救ふべきは上中流日本人の生活であることを明に見得る。

要之、今日矯風會の使命は決して働くことを以て誇とすることに對しての報酬ではなくて根本的日本人の生活改造でなくてはならない、表面的に又官僚的に禁酒及 公娼 撤廢運動が如何に行はれても矯風會の根深い運動がなかつたならば如何にして國民は眼醒め得やう、私は今自らが立つべからざる肉體的苦の中に葬られてるために切に諸姉の御奮鬪を祈つて止まない。

―一九一九、十二、十一日夜稿―

御投稿を感謝します、何卒これ迄に會の爲にお考へ下さるあなたのお名前を御知らせ頂きたいのです。（東）

左の書類は本會財務部で販賣して居ります續々御購讀を願ひます、

□□廣　告□□

本部財務部

□バトラ夫人傳―矢島楫子著―（公娼全廢運動者）

□一週一信―廣岡淺子著―（金七十錢 送料八錢）

□イスラエル物語―大橋房子著―（金二圓 送料十二錢）

□基督教新建設―久布白直勝著―（金一圓五十錢 送料八錢）

□ペルシャ物語―巖谷小波著―（金一圓九十錢 送料八錢）

□小草―金澤氏著―（子を亡へる人の爲に）（金一圓 送料八錢）

□傳道用小冊子數種（一部十錢より三十錢迄）

Digitized by Google

Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

理想に到達する準備

三輪田元道

凡て理想に到達するには準備時代が必要です、實例に就て私は申して見たいと思ふ。

「戰爭」今日の場合止むを得ないと言はれて居るが、未來はどうしても平和でなければならない、我國は古來から平和が理想であつた、私は神道から申すのであるが、昔しから「拂ひ給へ淸め給へ」と一口にいふ「お拂ひ」といふ事がある其語言が面白い、何を拂ふのかと言ふと即ち、血と死を拂ふといふ事で要するに戰をなくして平和にならなければならないといふのです、御婦人に一寸失禮のやうですが、月經の時は不淨といふて宮に詣りまた鳥居をくゞる事は出來ないといふのも此血であるからなのです、また死は拂はなければならないといふので神官は死人には決して接しないやうにしたものです、近頃神官が葬儀に列し早速神前に出て奉仕するやうですが大變な誤です、私が全國を廻つて見て驚くのは何處の神社佛閣へ參つても先其正面にシンボルの如くにして兵器が飾られてある、これは第一に取り拂はなければならないと思ひます、兵器は血と死の源です、それをシンボルとされては決して敎育上いゝものではない、また或る人が此事を申た時非愛國者のやうに云ふて怒つたけれどもよく其理由を述べた時其人も成程と言ひました。

「禁酒」決してすぐ行へとは私は言はない、理想として禁酒論者である、然し禁酒の理想を實行するやうに先各方面から努力しなければならないと思ふ。電車の中の廣告これなどは實に害がある、まるで酒の競爭のやうです、こつちの酒がいゝ、否こちらでなければといふやうに見える、矯風會の方などは電氣局の方と親しく會談してあゝいふ廣告が都會の中央を走る電車中に揭示されないやうになさるべきと思ふ、また日本第一

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

の都市の共同機關に酒の廣告を掲載するのは實に恥かしい事だといふやうに懇談する必要があると思ふ。

「禁煙」私はいつも思ふ、實に日本の今日の紙卷煙草は、けしからぬ名をつけたものだと、日本魂として一番誇るものを皆悉く煙にしてしまふのですから。

敷島の大和心を人問はゞ
朝日に匂ふ山櫻花

昔し村井とか岩谷とかが煙草をやつて居たときは決して斯ういふ名はつけなかつたのです、何でもないやうですが知らず〱に此名を煙にする事が精神上にも大な缺陷を與へる、專賣局長によく熟談して變へてもらふがいゝのです。

「一夫一婦」貞操問題、公娼廢止といふ理想を鼓吹する丈でなく近い處を見る必要がある、今日の國定教科書には「一夫一婦」といふ字は一ヶ處にも書いてありません、教へないでおいて犯すなと攻める事は無理です、一夫一婦は人の守るべき道であると明かに國定教科書に入れなければならない事です。

何でも理想に達する道順として教育運動をする事を忘れては決して理想に到達する事は出來ません。

廓清會の新年會の席上でのお話を面白いと思ひましたので掲載いたしました、勿論文責は記者に御座います、然し斯うしたやうに先高く理想をかゝげ着々と手近から實行して行く方針は我等が採るべき唯一の道と信じます、讀者方の内にもきつとおなじ御考へつきがあると思ひますどうぞそういふ記事の御投稿を願ます。（東）

新刊紹介

健康と性慾　小松武治譯

廓清會本部出版定價參拾錢
婦人新報社取次

廓清叢書の第一卷として出版されたのが即ち此書である、性慾教育について良書がない時此本は讀むべきものである、本書の目的は花柳病が結婚に及ぼす危險を防止する爲に書かれたものである、無智なる爲に家庭に社會に大な害毒が流される恐ろしさを防ぐため必讀をお勸めする。

ペルシヤ魔神物語　巖谷小波譯

集成社發行定價壹圓九拾錢
婦人新報社取次

十八世紀以來英國で公にされた古い書物を改作したものである、幾度か版を重ねた、或る時には大監督ホエトリイが編輯者になつた事もある、凡て東洋味の多い神秘的な然も道德的な神話を連續した物語として此一卷におさめてある、子供の讀物としてお勸めする。

日本婦人矯風會の光榮

大坂支部長　林　歌子

米壽の矢島會頭

古稀の祝とて、人世七十歳に達してさへ、喜び祝ふものでありますに、八十歳を超えて、來らん四月二十四日には、滿八十八歳、米壽の祝を迎へらるゝ、矢島楫子刀自を會頭に戴き、而も健全にて、視力は少し薄くいますも、耳もちかく、室内にては、御自分の御用は、人手を借らずに辨じ給ひ、時々箒とりて、御掃除まで遊ばし、昨年の暮にも、突然なる、大坂石神家の御不幸の時など、會頭は單身夜行列車にて大坂に來らるゝ御元氣、肉體の御健康は、健全なる御精神を宿し、頭腦明晰し事に當りて判斷を誤らず、偉大なる人格は、大正八年十二月六日を以て、創立滿三十三年を迎へし、基督教日本婦人矯風會を統率して、全國六十有餘の支部、三千の會員、數に於ては多からず、牛の歩みの遲々ながらも、今や我國の焦眉の急に迫れる、國家問題を、三十三年の昔しより、斷えず唱導して今日に至りました。

日本一の新しい

大隈侯爵が時々に「我輩は新しい男だと申されますが、私は「日本一の新しい女」は誰と、問はれますならば、躊躇なく矢島楫子刀自と答へます。

明治二十三年、第一回の帝國議會の開かれし以來、第四十四の議會に至るまで、毎年毎回、刑法改正「男女貞操の標準を一にせよ」「海外醜業婦の取締りを嚴重になして、國民發展の道を講ぜられよ」と、全國同志の連判を列ねて、議會に提出して、一夫一婦の天地の道を叫ぶ、不斷の努力は、年一年と、社會の良心を覺醒なし、今や禁酒問題の影に欝勃たる勢を以て、この大問題を解決せねばやまじと、心ある人々、殊に婦人の胸中に蟠り來りし事は、此間の三都に於て開かれ

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

ました大會に臨みて、今一つ飽足らぬ缺陷と覺えて、かゝる機に、男女貞操問題の申合せを作り、男女の節操はひとしくなすべきものとの、連判でもとりたいとの希望を洩せし婦人あり、昨年の議會に於て、横山代議士が、議會に向つて政府の賣淫を公許する「公娼」問題に付き質問を發せし等、一歩一歩曙光に近く事柄を、三十年の昔に於て、着眼せし矯風會の主唱者矢島會頭こそ、日本一の新しき婦人と存じます。

來らん大會

世中は盲目千人、目明き千人とか申します樣ですが、實際は中〳〵目明きは誠に寥々たるものでありまして、世の先覺者は、いつでも其當時には容れられず、其言葉は耳を貸す人は僅でありまして、豫言者、先覺者は其當時の人々よりは苦しめられ、いためられ苦勞艱難の多いは當然の事で、キリストの十字架を始めと致して、多くの豫言者は、皆苦難と以て成立致したものであります。

矯風會の主我主張も世に先だちて、禁酒、禁煙、一夫一婦を唱導して、御轉婆といとれ、突破と笑はれ、非常識と謗られ、而も一貫せる、主我主張は、次第に認められつゝ今日に至りました。

創立滿五十年と經過する萬國婦人矯風會にては、各國の同盟支部の會頭中、最高齡の我が矢島會頭の御誕生、四月二十日を以て「ジャパニスデー」として、之を萬國婦人矯風會の祝月とせらるゝとは、日本婦人のために無上の光榮と存じます。其會頭を戴く日本支部は、來らん四月二十四日には、會頭の米壽を迎ふべく、今年の大會は、横濱に於て開かるゝ豫定なれば、其大會に於て、敬愛する會頭の米壽の祝を持たん事は、全國の會員の期せずして、待望まるゝ事と信じます。

大正九年一月三日

——白髮は榮の冠なり——

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

萬國大　席　決定

一會頭　矢島揖

一青年部長　ガントレツト恒子

一法律部副部長　渡瀬かめ子

右の三氏を英國ロンドン市に開催される萬國婦人矯風會大會に代員として送ることに決定しました。

（本部常置委員會）

二月十二日の臨時常置委員會に決定されまして、船の都合上三月上旬の船で米國經由英國に渡航なさる事になりませう、お歸りは歐洲航路をとり、シンガポール、香港、上海等を訪問して歸朝なさるやう今其順序作製中でございます。（東）

シンガポールの公娼廢業

在シンガポール　古藤ふみ子

守屋東様、學校（東洋英和）に居りました時、時々お目にかゝりましたので私は、あなたをよく覺えて居りますが多分お忘れになつてゐらつしやるだらうと思ひ、初めての人からとして手紙差上ます。

御會出版の婦人新報をずつと拜見いたして居ます、當地の婦人の事について梅森牧師が御話しなすつた事など、勿論其は一部の婦人の評で一家持つて居る者は中々あゝいふものではありませんが然し爲になることだと思つて拜見しました、扨この手紙と一緒に新聞を御送り申ます、それにて委しくいかに半島全部の娼家を自發的に廢止させることになつたことを御覽下されると思ますが、私が以前學校に居りました節親しく御會々員の一員とさせて頂いて居りました、當地外國人からなる矯風會員の一員としての關係から是非日本の會員の方々にお願申たい事があります、それは今年一杯中に娼妓は大かた日本に歸りますが、長年南洋に氣樂な、ふしだらな生活をして居て、半面輕蔑まれ乍らも所謂（可愛がられて居た）女等を再び泥水に沈まないやうに、本當の愛とよく徹底した理解とをもつて御導き下さいましと申上ることでございます。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

重て御研究になつてゐらつしやる方々の事故よくこの女の人達の正直な、イグノラントの心持も御解りと存じますから重ねては申上ますまい。

然し何卒此處にて娼家廢止の爲非常に努力して居る人々に再び同じことを繰り返す必要のないやうになすつて下さい、私はこれこそ日本の若い心のぬれて居る女の人達の仕事であると思ひます。

外國ことに斯ういふ性の所に住ふやうになりましてどの位私共一部の婦人はなやみまた考へさせられたか解りません、娼妓達の方面から見ても自分達は無感覺では居りますが、實際氣毒なものです、新年號の新聞も合せて御送りしますからその中の記事もごらん下さい。

それからはまたさう私娼の殖える事でございませう、然し順々に日本人會もその廢止に力を盡してくれやうと思ます、そしてこれから十年後には堅氣の婦人達もこゝで相當に取扱はれるやうになりませう、只今では私共でも外國人の眼からはあゝいふ人達と變りなく見られ、もの云つて初めて解る位のものです。

今年はどなたかこゝにお出になるといふ事を聞きました、大變結構な事だと思ひます、娼妓をやめた女の人達のためにも何か御働きになれると思ます、が、それより前に、天草島原などの地方に歸つて行きます人達のために何卒適當にお働き下さいまし、勿論申上るまでもありませんけれど。

初めて手紙差上るのに前後錯雜した書きやうで、その上またなく失禮ですかお免し下さいまし、大變いそがしいので書きなほしません。

また萬一御用に立つ事がありましたら御申越し下さいまし。

一月七日

シンガポール　古藤ふみ

私信ですけれど決して一人で見るべきものでないと思ます、非常な希望を以て此手紙を私は皆樣に御披露します、學識あり、信仰あり且美はしい常識ある婦人が此事業に奉仕して下さらなければならない時です。

新聞は未だ私の手に入りません、拜見した上で御相談を願ひたい條々が澤山あります。ほんさに有がたいお手紙です御禮申ます。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

初旅の憶ひ出

西伯利亞お伴の記

宮川静枝

行けども行けども涯しない萬里の曠野は白く雪に蔽はれて、所々に立ちつゞく白樺の森がわづかに空の水淺黄を溶いて變化を作つてゐる。沿線の寂しい驛々は汽車の止る毎にしばし賑ふ。粗朴な村人や無邪氣な少女等の旅人にへだてを置かぬやさしい表情が私の旅情をそゝる。私は持つてゐる限りのキヤラメルをすつかり子供達に分けてしまつた、無邪氣な喜びの聲がふいと人々の視線をこちらに向けてしまふ。愛らしい子供達！今彼等と私との間は氷の海や山川で遠く隔てられてしまつてゐるけれ共、あの可愛らしい少女の一群は私のなつかしいメモリーの一つになつてゐる。

夕暮の幕がおりて灰色が地上を包む時、自然は音をひそめて寂しさは一入まさる。そうして夜の色が濃くなつて冴え渡る月の光は銀色に輝き、なだらかな丘の曲線が目路の彼方はるかに幻のやうなリズムを造る。美しい、寂しい。げに太古をそのまゝの靜けさである。

浦鹽から卅五時間を經て漸く翌Hの夜十二時過ぎにハバロフスクに着いた。道中はM大尉の一方ならぬ御厚意によつてフリーコウストで一等車に心安くゐる事が出來た。そうして途中の兵站部から運ばれた軍隊のお辨當も生れてはじめて頂いてみて、今迄曾て覺えなかつた軍人に對する同情を感じたのである。

ハバロフスクの驛にはK幹事お二人が出迎へてゐて下さつた。頬を切るやうな眞夜中の寒さは零度以下廿度位であらう。私共はお二人の御深切をどのやうにうれしく思つたかわからない。此夜は構内にある青年會の慰問貨車に珍らしい一夜を明した。此も私の生涯に二度とない愉快な思出の一つである。

翌日早く、數哩隔たる青年會倶樂部の方から、お父さん役のI幹事と背の高いドクトルHが來て下さつたので、食事が濟むと直に四臺の橇を驅つて私共七人は出かけた。八頭の馬は眞白い息を吐きながら勢よく雪道を走る。口髭に大豆のやうなツラヽをさげてゐるルスキーは凸凹な道を巧みに御してゆく。清澄な朝の空氣をふるはせる微妙な鈴の音が聞えて、丘を通り白樺の木立を過ぎる折々には粗末な橇の一群に出逢ふ。そうして小高い丘を走る頃には、遙か彼方の地平線は夢から醒めたばかりの瞼をあげて桃色にほゝえむ。空は淡い水色、地は涯しない純白である。ふと見かへれば、アムール川は九尺の氷に閉されて無限の彼方よりはてしなく悠々と天地の間に横はつてゐる。

間もなく一行は日章旗のひるがへる兵營内の青年會倶樂部に到着した。大きい寺院である。中には大勢の兵士が來て暫しの時に我を

忘れて遊戯に夢中である。随分種々設備がしてあるのに驚いた。私は、ボーリングや撃劍に一心になつてゐる人々の無邪氣な樣子を見て、ほゝゑましく感ぜずには居られなかつた。

午後、ある憲兵が訪れて來られた。Hさんと私は、色々物悽い事實を伺つて今更の如くに人間生活の裏面に潜む罪惡の醜さ恐ろしさを感じて身内の顫へるのを覺へた。

人々からは醜業婦と賤められて社會の暗黒裡に果敢ない生活をする私共の同性は如何に多い事であらふ。彼等はシベリヤの雪深き處同胞の住まはぬ地にも行つてゐるのである。

ヘロフスタでは在留民五百人の中半數はそれらの婦人である。彼等の中には十六七のうら若い少女もある。年多きは廿七八位である。いづれも小學校卒業位の程度でそれすら受けてゐない全く無智な人達も多いのである。彼等は大抵九州南方の農家に生れ、道德や智識の程度の低い周圍の感化を受けつゝ成長した人々である。彼等は或は家計補助の美名の下に親に賣られ或は其他の事情で賣られて行つたにせよ、淺果な虚榮心のために其身を過つた人々が誠に多いのである。彼等は三ヶ月一度位は百圓位宛國許に送金するとの事である。けれ共その金は實に意味深いものではあるまいか。

此夜は、Y中尉やライオンといふ綽名を持つた後備の人も交つて樂しい食事を濟ませ後は讃美歌を唱ひ、故里遠くはなれた十一人の靈は久々ぶりで美しく潤つた。Y中尉は此夜終に信仰に入られた。皆は心から喜んだ。

ライオンさんは愛する妻を偲んで種々私達に話をされた。そうして、出征の時、品川驛に見送つて行つた六つになる男の子がお父さんお願ひだからお母さんに默つて僕を一緒に伴れてつて頂戴と言つた時はほんとに泣きましたと當時をなつかしげに追想して身の上話をされた。外には北極から吹き寄する風の音が忍びやかに夜の世界を廻る魔神の羽音のやうに物凄い唸りをたてゝゐる。

十七日午前中は十二師團司令部や兵站監部赤十字病院などを訪れた。

赤十字病院で、一番最後に行つたのは大きい室で、廿人位の外科の患者達がズラリとベッドを並べてゐる。その中にはひどい凍傷のために兩手は腐り、兩足は萎へてしまつてゐる人が四五人ある。前途の長い、若い兵士にとつては、どれほどの償も今は甲斐ない事である。人生の歡びも悲しみに變るだらう。あゝ神よ、どうぞあの人々の靈がせめても健かであるやうに護つて下さい。肉體に苦痛ある人々の心の眼が今迄見る事の出來なかつたあなたの輝く御顏を見る事が出來て『我は永遠に生くとの溫いよろこびに生きる事が出來ますやうに尊い御恵を與へて下さい。生くる日の限り、彼等の心に慘酷な絶望と自棄が忍び込まぬやうに御護り下さい。

病院を辭した私共は領事館へと急いだ。私達の過ぎゆく人通りの少い路では、猪のやうな豚が親子出揃つて長閑に遊んでゐる。坂路では丸々肥つた子供達が元氣よく兄妹連れで乘つたりして小さな橇で辷つてゐる。高臺から眺め見返へればあちらこちらに、莊麗な

Digitized by Google

Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

ニコライの寺院が聳え立つてゐる。地平線は遠くかすかに天地の涯に續いてゐる。凡てが如何にも廣大で雪國らしい寂寥が何處にも滿ちてゐる。

領事館に着き早速S領事にお目にかゝる。氏は「兼ねて醜業婦問題では苦しんでゐますが、斯問題のためにシベリアの此奥を遠しさせたといふ事は誠に感慨に絶へません。どうか致したいとは存じますが中々六ケしい問題で實際困ります。折角希望に輝いて青年諸君が内地から來ても、寂寞は覺ゆる、娯樂機關は無い、そうして大勢の醜業婦がゐるものですからいつの間にかだん〳〵墮落の淵へと引き込まれて行つてしまふといふ有樣で、終には、最初の希望も忘れたかのやうに無意味な生活に甘んじて醜業婦と同棲して生涯埋れ木となつてしまふのです。誠に惜しい事ですが如何ともする事が出來ないやうな狀態にあります」。といふやうな事を言はれた。それから通譯官の御案内で實地觀察に出かけた。

ハヽロフスクでは支那町に五軒、イルクスタ町に七軒あつて、多きは一軒に廿人少きも十二三人置かれてゐる。

私共は支那町にあるそれらの家を見た、娘達の室も彼等の樣子も覗る事が出來た。彼等は日本服、而も染絣などの粗末な筒袖を着てゐる人もある。皆如何にも九州の田舍娘である。

私達の橇が支那町に入つた時、往來の眞中で支那人達が何か罵り合つてゐたが、ふと見ると日本の娘が四人、あの寒空を素足で羽織も着ず伊達卷一つで洗髮をとき流したまゝ歩いてゐる、お風呂の歸へりらしかつたけれ共、私は彼等のために心より同情を覺へずにはゐられなかつた。氣の毒な哀れな人達—醜業婦と賤しめるよりも、私は自分の力なさを恥入つた。そうして、同じ國に同じ同胞と生れながらどのやうな因緣なればあゝいふ悲慘な生活をしなければならなくなつてゐるのだらうと思つて娘等のために私は人生を呪つてさへゐた。

ある家を出て私共が歸らうとすると、一八位の初々しい娘が一人わざ〳〵外迄見送つて出て來た。その娘らしい優しい樣子といつも私は忘れ得ない。あの子のした事がどんな恥づべき事であらうとも、又彼の女がどんな穢れた家に墮落した女達と一緒にゐやうとも、あのすなほな表情には野末に默つて咲いてゐる野菊の花の取りつくろはぬ氣高さがあつた。なぜ私はあの子を一緒につれて來なかつたのだらうなぜ私はもつと無分別でなかつたのだらうか。私は今も思ふ度にあの入口に立つて見送つてゐる人の姿がしつかりと自分の記憶の壁に彫りつけられてゐるのを感じて、悔いと言ひしれぬ憐憫の情にほだされる。迷へる羊を子の如くたづぬる牧人の命がけの情けは自分になかつたのか。私は此の一人の人のためにも自分の知慧と力を盡すべきではなかつたらうか。

支那町の歸途Iさんは私達のために司令部に行つて下さつたので、Kさんに導かれて美しくて上品なハヽロフスクの大通りを走り、とある木立のほとりで橇を下りて公園へと行つた。白樺の立ちつゞく雪深い路を行き右側の家

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

の奥から珍らしく軍樂の雄壯な調べが快く響いてくる。出遭つた四五人の人々は皆美しい皮膚をして林檎のやうに生々した赤い頬をしてゐる。左は渺茫たるアムール川である。一番薄い處でも氷の厚さは二尺位はあるさいふ。その廣い／＼氷の上を走る橇は丸で玩具のやうに小さく見える。五十年前愛渾條約の折、劔を交へずしてアムール全州を支那から取つたさいふ有名なムラビヨーフの堂々たる立像は左手に地圖を持ち右手に双眼鏡を持つてその寛い胸のあたりに腕を組んだまゝ悠々さして目路遙かに擴るアムールを越えて遠く支那の方を望み見てゐるのである。

此の夜の事である。美しい夜の景色をみやうさ思つて、外に出てみるさ冴えわたる大空に輝く星はダイヤモンドのやうに美しい、そうして、寺院の丸屋根は緑の色深く幽かに反映してゐる。雪に蔽はるゝ地は踏む靴の下にキリ／＼さ鳴る。

月明らかなかゝる夜は、天地の寂寥の中に大地のかすかな息づかひさへきこえて、謙讓な祈りの心さ美しい神秘さを感ずるのである。星の世界からは、大空よりも廣く見ゆる地上を照して青い光が輝いてゐる。吾が上に、吾が周圍に、吾が踏む處に、太古變らぬ大地の美さ靜寂さ神秘さが充ちてゐる。

翌朝は倶樂部のお隣りにある病馬廠を訪れた。此處にゐる人々は後備兵で家には大抵四五人の子供を持つてゐる人々である。怠屈な守備だからでもあらうが皆ホームシツクにかゝつて中にけ自棄酒を呑んで困る人もあるさいふ。私達は粗末な處に、不自由さ寒氣さ、寂寞さ戰ひつゝ其子を思ひ家をなつかしむ人々の上に心からの慰めを捧げた。Hさんはいろ／＼さ慰めの言葉を盡して人々を励まされた、中には初めから涙で一杯になつて面をあげ得ない人々もあつた。「たてよいざ立て」を唱つて別れ私共は青年會の方々さ一緒に寺院をパツクに記念の寫眞をさり二時間の後には午後十二時半の汽車に間に合ふべく眞白い路を橇に揺られながら急いでゐた。私共は今一度浦鹽に引返してハルビンに行く事にした。停車場司令部では一等車は修理中だからさて二等車にフリーコウストで乘せて下さつた。浦鹽迄はI幹事や、貨車に乘つて軍人對手の愉快なそして隨分苦しい旅をさるゝKさんやAさんさ一緒だから安心してゐる事が出來た。そしてT中尉は「何僕等がしつかり護衛してゐますから」さ言つて元氣よく色々の話に打ち興じた。四つ目の停車場でT中尉が下りるさ入れ代りに將校二人さ兵士三人が乘つて下さる事になつた。此時十三になる日本の少年が通辯になつて一緒に乘つてきた。活快な面白い少年だつた。ニコリスクからは私達の所には種々のの人が集つた。チエツク兵は質朴で親切であつた。コルチヤクの兵士達は絶えず足拍子手拍子をさつて唱つたり笑つたりしてゐた。以前は大臣の職にゐたさいふ紳士はいつも默つて何事にも無感覺になつたさいふやうな容子で、六つ位の可愛らしい男の子を抱へて窓際に立つてゐた。又家族は皆殺されてしまつたから浦鹽にゐる友達のお父さんを頼つてゆくのだらうさいふ十七さ廿位の美しい姉妹もゐた。私達の列車は悲哀さ歡喜さ絶望の入り混つた重苦しい人間の一團を乘せて夜の十時頃浦鹽に着いた。

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

フランシス、ウヰラード

大橋房子

都市の城壁からかけ離れた此の邊りの曠野には、祈りの時を告げ知らせる鐘の音も聞えませんでした。まして此處には地平線下から垂直に大空へと伸び上つた尖塔などゝいふ、人間味の加つた、贅澤な技巧的背景は見られ得べくもありません。一月に一度か二度巡廻して來る牧師を捕へる爲にも、四哩の田舎道を走つて行かねばならなかつたと申します。その日の朝になると、いつもとは見違へる程美しく正装した一家族は、二頭の愛馬に車をひかせて、いそ〳〵と禮拜に出掛けて行きました。見る物毎にくる毎に敏感な胸をそゝられるフランシスとメリーとは、車の外に半分身をのめらせて、曠野を渡るそよ風にゆたかなちゞれ毛をあふられながら、何時になくうちくつろいで輕い微笑をたゝへてゐるお父さんに、無邪氣な奇抜な鋭い質問の數々をたてつゞけにあびせかけました。

森の家

二

つとに出でよはにおきて
いかにつとむるわざも
もし主の共にまさずば
水にゑがくがごとし

開拓の勞苦に吸へるだけの勢力を吸はれてゐたウヰラード夫妻は、あのミレーの「晩鐘」を想はせるやうな、美しくも又嚴肅な宗教生活を、多方面に分散するエネルギーの基點に置いて居りました。嚴格な清教徒の血を引いた敬虔な夫妻は、六日間の汗と垢とを洗ひ流した後の快い疲勞の感じにひたりながら、何となくゆつたりした物靜かな土曜の夜をどんなに樂しんで送つたでせう。そしてどれ程のあらはれとよろこびとをもつてうらゝかな聖日の朝を迎へたでせう。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

何となしにこわいやうな、嬉しいやうな、又薄氣味の惡いやうな禮拜堂から、正午近い屋外の明るみに逃れ出た時には、突つ放されたやうな自由な感じの中に暫くの間忘れてゐた食慾の異常な興奮を伴うて甦つて來るのを覺えて、二人の無垢な少女はキッとかみしめた口の中に滲み出る唾液をぐつと飲み下しながら、鼻にぬけるやうにかうばしい燒鳥や、水々したとりたての野菜や、煮えたぎるコーヒーの湯氣などをそれとなく心に描き初めると、愛馬のあがきもぢれつたい程、温い樂しい「森の家」が戀しくて／＼たまらなくなるのでした。

嚴格な父は日曜日にはめつたな書物を子供達に讀ませませんでしたが、例になくこつてりした御馳走に空いたお腹をふくらすと、快い香りを含んだ烟りのやうにもおつとおひかぶさつて來る食後の睡氣を振り拂ふやうに、自然木のステッキをとりあげながら、

「さア、往かう！」

と元氣よくフランシスとメリーをうながして外に出るのが常でした。澄んだお父さんの口笛が乾燥した日中の空氣を鋭く破ると、まつさをな牧場に午睡をむさぼつてゐた數匹の番犬は、アヽッと一ッ耳を後にそらしてあくびをすると、木製の階段を今駈け降りて來る小さい主人達の方へ、しつぽを振り／＼一直線に走つて行つて、ともすれば小さい少女等の大事な餘所行きの着物の胸を汚すのでした。愛らしい生き物と愛兒とのもつれあひを微笑みながら見下してゐたお父さんが太いステッキを大きく一振りゆつくり振り廻してピピッと輕く口笛を鳴らしながら大股に歩き出すと、今まで氣狂ひのやうに小さい少女等の足にからみついてゐた移り氣の忠僕等は、ダランと垂れた長い淡紅色の舌の根から白い息をハッ／＼と吐き出しながら、燃えるやうにギラ／＼と光る眼をキッと見張つて、飛ぶやうに主人の黒い後姿を追うて行きます。取り殘された子供等は何だか置いてけぼりにされたやうな心細い不安に胸を躍らせながら、今朝お母さんがねん入りに撫でつけて下すつた頭をからかさのやうにバアッと振り

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

擴げて、わきめもふらずにはしやぎきつた先進隊に追ひつきました。人間の臭味から離れた雑木林の、踏み心地の何となくしめつぽい傾斜を、はづむやうにまろぶやうに駈け下りて、サラ〳〵とさゞめく小川を緑草のギザ〳〵の上に透し見た時には、そのギザ〳〵をかすかに顫はすあるかなきかの微風も、輕い興奮と疲勞とに快く汗ばんだ肌をスウッと縮ませる程冷く感ぜられて、倦怠を知らぬいたづらつこもいたづらものも、等しく魂をぬきあげられたやうにボンヤリと夢見心地で立ちすくんでしまふのでした。こんな時お父さんはよく年をへた杉の小枝をピシッとへし折つて、

『こんないゝ匂ひのものが外にあるかえ?』

と、新鮮な茶褐色に光つた常緑樹の切り口をフランシスの鼻先につきつけました。

『今でも赤杉の匂ひをかぐと――鉛筆の削り口にのぞく杉の木の赤さを一寸見ても、私はすぐ森の家の生活の樂しい思ひ出に醉はされてしまひます。』とフランシスは後に云つて居ります。

『お母さん、今日こそ果樹園につれてつてよう。ね?行つてもいゝでせう?』

日曜の午後といふと二人はよくお母さんの居間におしかけて行つては、安樂椅子に身を沈めて古めかしい大きな金ぶちの聖書に讀み耽つてゐる夫人を、ふだん入る事を禁ぜられてゐる果樹園へいざなひました。花鋏みを手にした夫人が靜かに果樹園のしをり戸を開けると小さい惡魔のやうに悧潑な二人の少女は、好奇の眼をきらめかせながら、大げさな身ぶりに首をすくめて、忍び足でゆつたりしたお母さんのスカートの背後につゞきました。此處で夫人は、丹精につちかはれた秘藏の草花を心靜かにつみ切りながら、小惡魔の破壞的な惡戯から隱され、護られた果樹園の心に、平和に無心に、清麗に咲き亂れてゐる纖弱な花の生命の如何に尊く、美しく、不可思議なものであるかといふ事を無言の中に説き聞かせました。

かうした平和な午後の一時の後に過す靜かな團欒の夜は穩かな、意味深いものでした。漆黒なピアノの面に

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

チラ／＼と映る自分達の顔の伸び縮みに、時々我ともなくこみ上げて來る笑ひを強くかみ殺したり、心持蒼みを帶びた白い鍵盤の上を辷るやうに柔かに行き來する肉づきのいゝお母さんの美しい手を不思議さうに眺めたりしながら、フランシスは敬虔な心で分らぬながらたゞ何となしに天上のものを想はせる詩句を一生懸命に歌つてゆきました。美しく澄んだお母さんのミルクのやうに滑らかな、柔いソプラノに聞き惚れてゐると、壓するやうに頭の心に鳴り響いて來るお父さんの強いバスに脅かされて、フランシスは時々お母さんについて唱ひつゞける事も出來ぬ程度を失つて、思はずもハッと顔を赤らめるのでしたが、やつと捕へた一言の中にもピッタリと胸に觸れる何物かゞひそんでゐるやうな氣がして、林檎のやうな頬に注がれる父母の視線を何か惡い事でもした時のやうに面はゆげに避けながら、小さい體軀をペッタリと長椅子に埋めた時には長い說敎やくだ／＼しい譬へ話しを聞かされたより以上に強い、深い餘韻と感動とにわな／＼と打ち顫へて居りました。

聰明な兩親は、敏感な少女の胸に早くも萠え初めた動もすればこぼれ易い宗敎と藝術との蒼白な若芽を、かうした家庭的な團欒の中に、無邪氣に、自然に、のび／＼と育てゝ行つたのでございます。

□□　禁酒宣傳示威運動　□□

安藤會頭を頂く日本禁酒同盟會青木庄藏氏を會長とせる國民禁酒同盟會とは共同して、二月十日に未成年者禁酒法案を通過させん爲に、一大示威運動を擧行されました、三十萬枚の禁酒宣傳のビラを飛行機と自働車廿臺とによつて東京全市に配布しました、九重の雲深き處まで空中より撒くビラは片々として飛び散りました、我會からも少年禁酒軍長守屋東姉を先峰に千本木、二階堂、宮川姉等總出で終日應援につとめました、此運動が全市を動かした事は大なるものでした。

Digitized by Google
Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

□□ 大阪支部第廿回年會 □□

大阪支部

幾多の變遷苦闘の中に滿二十年をへ迎たる大阪支部は十二月六日午後九時より改築落成したる中之島婦人ホーム新館に於て第二十回年會を開く、

一、新禱會　三十分　　司會　中村久榮姉
一、讃美歌　三四番　　清水種子
一、聖書朗讀　　河邊柳子
一、新
一、開會之辭　　中村久榮

辭に曰く、「滿二十歳になる此會は今迄に種々たる變遷をして來た、今世界改造の聲喧しい現代に於て、世の改造さ共に、本會も改造されなければならない、本日は皆樣の腹藏なき意見を述べて會の發展の爲めに共和的に進行させたいさ思ふ」さ次に各部及課の報告に移り。

教育部長　釘宮壽賀子
傳道部　河邊柳子
社會部　菊地志奈子
交際部　緒方吉重子
財產部　中村久榮子
青年部　錦織くら子

次に少年部長西野貞子の少年禁酒軍に對する左の奬勵あり、曰く「毎日曜日に少年軍をするさ如何なる利益があるかさ言へば、

第一、生徒をよく働かする事が出來る。

第二、日曜學校に學んだ事を練習する事が出來る、即ち我が少年軍に於ては書記、會計新禱は子供が遣るので集まつた五十圓を日曜學校出身者の勉學に資し、或は西比利亞に送つた事もある。

第三、酒の害について感ずることが出來るから酒の恐ろしい事を幼稚の生徒も生理的に知つて居る。

第四、軍隊組織にするから規律が正しくなる、

第五、生徒の少い組は小隊長が勸誘して連れてくる、等で要するに日曜學校で如何に種々な事を敎へても信仰もし行ひを離れずば死するなりである」さ次に錦織くら子の書記報告あり、凡ての報告は感謝して受け入れらる。

議事に移るに先ち人員點呼を行ふ。

一、議題。

一、大阪支部の年中行事さして毎年一回掘出物バザーを開催し財務の働きを助くる事（錦織）
二、規則の改正件（清水種子）
三、婦人ホーム理事を以て矯風會理事さなす事（錦織）
四、來年横濱に開催するべき矯風會大會に提出すべき議題の件（河邊）
五、會の發展を期するために會員の敎育方法。（河邊）

第一は滿場一致を以て可決。
開會期日を十月。
第二は委員附托さなる。
第三は常置員を新に置く事に可決。
指命委員五名を選び委任する事。
委員　清水、石神、川邊、二宮、林の五姉、
第五は
1 中央公會堂にて春秋二回、大々的矯風會演說會開催の件（河邊）
2 委員を增して會員の個人訪問をなす件（二宮）
3 各課及部の人々集まりて研究會を開く事（河邊）

以上にて一先づ議事を打ち切り役員改選に移り

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

指名委員を擧げて一任する事に決議す、成瀬ひび子會員を代表して舊役員への謝辭を述べ次に役員披露あり。

支部長　林歌子
副支部長　清水たよ子
會計　安東新子
延生日献金會計　杉野龜野
書記　錦織くら子　成瀬比非子
教育部長　釘宮壽賀子
傳道部長　河邊柳子　二宮和佐子
風俗部長　名出昱子
社會部長　菊地志奈子
交際部長　緒方吉重　杉田いそ子
　藤本ます子
財務部長　阪部富子
家庭部長　石神八重子
少年部長　西野貞子

一、賞旗授與式に移り、東部美以教會之を受く、
授賞されし部　教育部、
授賞されし委員　吉田きみ子、竹中たま子、菱川いく子、二宮わさ子、並河つる。
一、追悼會、七名の故人の爲に其略歴信仰等を述べて天上の友を偲ぶ、讃美歌二四八番合唱して司會者祈を捧げ閉會す。

大阪支部創立滿二十年感謝會

司會者は「昨年第十九回年會に於て二つの事が決議された、其一つは當支部滿二十年記念運動さして會員を千人たらしむべき事、第二は婦人ホーム改築竣功を期する事、然るに本年は目出度此二つとも實蹟が擧って今茲に滿二十年感謝會を開く事の出來るのは誠に此上もない幸である」を冒頭に續いて石神八重子の婦人ホーム改築報告あり、次に清水たれ子會員を代表して林支部長に對して滿二十年間奮闘の歴史を述懷しつゝ感謝の辭を述べられ、會員よりの謝意さして集まれる金五百圓を呈上し續いて林支部長の答辭あり「辭に曰く私が故郷越前より東京に出たさきは東京を墳墓さするつもりであつたが遂に大阪の博愛社に來る事になり爾來二十餘年間、大阪に友を得て皆樣の助けにより斯く會が發展した事は誠に此上もない喜びの至りである、今は生命を賭して働くべき時である、社會を觀れば、勞働問題 男女問題等 終日働いても尚之れ日も足らざる有樣であるが故に我等は骨身を惜まずに出來るだけの事をしなければならぬ、殊に之れからは團體の力でなくてはならぬ、私一人行かなければ神は待ち給ふの心を持つて行きたい、皆樣さ協力して勇ましい戰がしたい」さ。

林支部長を助けて共に二十年間余の爲に盡された清水種子に額一面を送り感謝會を終る。

來年の新年會は一月十日午後二時よりホームにて開く事さ決し林支部長の祈禱、四六二の頌榮にて惠の中に散會。（錦織くら）

□□學生招待會□□

東京部會

第四年目の招待會が正月五日午後三時から開かれた。本部家庭部の主催で、交際部さ東京部會が應援の美しい集りである。

三時になるさ「早過ぎましたかしらん」さ遠慮深い中にも元氣な喜びを見せて、麻布青年會の方々が一番に見える。それを先頭に制服や紺絣の青年の群がずん〜玄關に吸込まれて來て、靴や朴齒の下駄が處なき迄に並ぶ。大小の應接間を打ち通しても、大きい人ばかりで身動きもならぬやうな有樣、其のグループを對手に、接待委員長のガントレット交際部長が英語、日本語自由に打交ぜて拔け目なく取りもたれる。やがてお母さんや姉妹が打ち交つてトランプ、カルタ、フリンチさては椅子取りらかんさんまでも始つて樂しい笑聲が其處でも此處でもざつさ起る。長い間の遊びに疲れて後はオルガンに合せて、讃美歌の合唱が始つた。各國の人々がそれ〜〜自國の語で唱ふのだからそこ

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

には誠に言ひ知れぬ雰圍氣が出來る。いづれも感慨深い面持ちである。

六時半頃食堂が開かれた。二階の廣間三つを打通した食卓には七十人程の人々が並ぶ。川崎家庭部長の心こもる御馳走と、お互同士のにこやかな表情が温い親しみを造る。

「此御飯は臺灣米なんですか？」

と誰かゞ頸を捻ると。

「なに、これは東京米だからおいしいんです」

と中華國の女學生が答へる。

「大變ポロ〳〵してゐるぢやありませんか」と朝鮮のGさんが言ふと。

「此は世界聯盟米といふんですよ」とMさんが大變なところにこじつけてしまつた。するとGさんが。

「世界聯盟米ならば少し仲よくくつついてゐさうなものですね」と酬ゐる。

Mさんがすかさず

「それはあなたにはまだ解らないんですよ、世界聯盟は個性を尊重する、そうしてその個性は世界聯盟といふお皿の中に一つになるといふんです」と言ふと、Gさんが「なるほどそれで分りましたといふ」

食卓で圖らずも世界聯盟といふ言が出たが、此夜は東洋聯盟の集りのやうに思はれた。中華國の留學生廿數人を筆頭に、比律賓、印度、ビルマ、ペルシヤ、臺灣、朝鮮の學生四十人餘に日本の學生十數人程の珍らしいお客樣である。いづれも理想を抱き抱負を持つて、國を憂ひ同胞を思ふ情の切なる人々が多い。

食事が濟むと各國から一人づゝ代表を出して英語のテーブルスピーチが始まる。殊に最後の朝鮮學生の日本語で話された熱烈な話には一同深く感激された。最後に矢島會頭は立つて簡單に話された。そうして私は八十七年前に生れまして、小さい時分から家の人々に四海皆兄弟といふ事を敎へられて居りました。ところが私が長い間生きてゐましたおかげで、今晩此處に各國からおいでになつてゐる多くの若い方々にお目にかゝる事が出來まして誠に嬉しく存じます、此家はいと小さくはございますけれ共、全國にある三千の會員も共に喜んであなた方をお迎へいたして居るといふをお覺え下さいませ

そうして皆樣がお國におかへりになりましたならば、このやうな婦人の團體が出來て世界の平和の爲に盡す事の出來るやうにお骨折下さるやうにお願ひいたします」と言はれた。會頭の話はガントレット夫人の巧みな通譯で學生諸氏の心によく徹する事が出來たのである。そうして中華國の人々は「我が國にかへりましたならば、必らず吾國の婦人を解放し、自由にしてやりたいと思ひます」と深い覺悟の色を見せた。

食事が濟んで後は、大廣間に丸く座を造つて色々面白い遊戯が始まつた中にも印度のバラモン宗の讃歌や、支那の京歌は珍らしく不思議なものである。又ペルシヤの哀れ深い歌調は唱ふ人の眸の奥に今は幻の如くに消え失せた太古の文化の榮えを偲ばせ比律賓人の民謠は、椰子の木陰に唱ひ且つ踊る南洋の放逸な生活を思はせた。

十時半、三九二番の別れの歌を唱ひ閉會の禮をして別れた。去りゆく人々の面には「もつと遊んでゐたい」といふ殘り惜げな心持が表れてゐる。ビルマ人の兄弟「こんな深切な團體があるとは知りませんでした」と如何にも嬉しげに見えた。會員の人々をおばさんと言ひ先生さんといつて一夜を睦み合つた東洋の人々の若い心の奥から迸つた叫びは東洋人は虐待されてゐる。我々は我々の文化を持ち我々の力を持つて大に奮闘しなければならぬ」といふ聲であつた。

九年一月卅一日　しづえ。

此會に御寄附下さつた方々。

一貳圓　小崎、松宮、守屋姉。
一參圓　藤井、廣瀨姉。
一五圓　渡瀨、伊藤さみ子、ガントレット姉
　　　　青年部、
一拾圓　川崎姉、東京部會。
計金五拾貳圓也

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

各地通信

回本部

常置員會

一月十三日本部會館に於て開く、出席者 矢島、小崎、藤井、守屋、大橋、鵜飼、根本、宮川の諸姉、矢島會頭の祈を以て初む、相談事項。

一、會頭の米壽の祝につきて、

1、八十八に支部を増す事、

2、八錢八厘以上の數にて八八のつく金子を集め會頭に送る事、其發起人として大阪支部、東京部會、九州部會、北海道より及外人より一名づゝを出す事。

3、祝賀會を開催する事。(大會々場にて)

一、大阪支部長林歌子廿年間の勞苦主義の爲に戰はれしにつき本部より感謝狀を送る事、同時に補佐の任にありて勉められし淸水種子姉にも送る事。

一、萬國日曜學校の接對委員に交際部長ガントレツト姉を推擧する事。

一、婦女新聞社提出の女子高等教育開放に對する請願に對し會として贊意を表する事。

報告

一、慈愛館募金の成行。

一、少年部長の禁酒運動に關するもの。

紹介

一、鵜飼啓子夫人を常置員に推擧し一同に紹介夜同姉は歐洲大戰に佛蘭西に出征して赤十字班として實驗されたる物語ありたり。

祈を以て閉會す、感冒の爲出席少なし。

慈愛館館內理事會

一月十七日午前十時より本部會館に於て館內理事會を開く、出席者、矢島、守屋、スペンサー、ペンロツトの諸姉、慈愛館々內に關する諸事務の報告及理事會に提出すべき豫算案及其他につき協議す。

慈愛館理事會

一月廿四日午後二時より本鄕會館にて開く、出席理事矢島、小崎、渡瀨、皆川、守屋、二階堂、スペンサー、サンダ、ルエス、ペンロツト、クローソン、マコーレー、の諸姉理事長矢島楫子祈を捧ぐ、千九百十九年の會計報告、事務報告及其他の議事あり、種々協議の結果決議されたるものなく次回を理事長指定の下に開催に決し散會す。ミスサンダ終りの祈を捧ぐ。

回支部

東京部會

一月十六日東部會館に東京部會常置員會を開く、出席役員十二名二階堂幹事の司會にてすゝむ、

一、報告。

1、一月五日に學生招待會を開催せり。

2、代理部を發展方法につき永島姉報告、

一、相談事項

1、外國留學生度々招待の可否及其方法、(宿題)

2、議員招待(贊成可決 委員を擧ぐ附托す。

此日長崎支部より鶴崎夫人、佐世保より平山夫人轉會されたるにつき拍手を以て迎へ共に主義の爲戰ふ事を約す。

富山支部

一月廿二日午後一時半よりアームストロング姉邸にて例會を開く、出席者廿四名、讃拜各部報告の後會員中より左の如く談話ありたり。

一、幼時教育につきて、 古川 たつ子
二、女子教育につきて、 柳田 千代子
三、責任感の必要、 星 かつゑ
四、戰爭と婦人の活動、 ミセス、ピンセツト
五、矢島會頭の御生涯、 白石 もり子
六、フランシス、ウヰラードにつきて、 ミス、アームストロング

議事

一、市役所より會則の差出方を命ぜられたるに付改めて制定したり。

二、陽春の候本部より會頭又は有力なる方の御來富を請ふ件。

三、東園知事御夫婦御病氣につき御見舞の件いづれも可決、菓菓を頂きつゝ交換バサーを開き十三圓十錢の收入あり、第一回としては大成功なりと喜びつゝ六時散會せり。(稲田)

大牟田支部

一月九日午後一時よりルーテル教會にて新年親睦會を催しぬ、支部長司會の下に讃美、聖書朗讀、祈禱、讃美、支部長挨拶ありて後組合教會相馬牧師の講話ポーロの例により前進すべき事、又基督教婦人が智識的に醒めなければならぬ事を教へらる、一同大に得る所あり、支部長の奨勵あり、富山牧師ノ祈禱をもつて會を閉ぢ茶話會にうつる一同支部の前途につき語りあひ働きにつき各自の意見を述べ楽しく有益なる時を送りぬ出席者十三名、

先日より申上んと存じ候が絶えず東部の皆様より御通信を受け又手前よりもお願事など致し候に一度もお目もじ致さずどんな方やらといつも考へ候、一度東部皆々様の御寫眞を新報にお載せ下されては如何に候哉此願は私一人の願にあらず、恐らく全支部の姉妹方の願ならんと存候、此願かなひなば此上なき喜に候)

丸亀支部

種々の都合上當支部の誕生記念會が延期となり去る十一月廿九日午後二時半より丸龜教會にて中澤支部長司會の下に開會まづ數名の熱心なる祈ありて相談に移り、支部の發展策其他種々協議し頗る有益なる集會なりき、此頃當市にはホーリネス教會が出來、日基の方へも宣教師御夫妻が來られ又米國大統領ウヰルソン氏の令姪執夫婦も來られ、其他有力なる信者の方々に來往されしにより此後當支部は益々發展する事と信ず八日より書記欠員にて時々の通信も致さゝれ共集會は度々催しつゝあり。當支部のためお祈を乞ふ。出席者十六名。岩瀬坂出支部長外一名出席された。

水戸支部

十二月十三日午後二時より本年始終の例會を友會々堂に開催、廿分間傳道部長司會の下に禁酒のための祈禱會をなす。

次に事務に移りて各部の報告あり。宇佐美姉は過日慈愛館の衛生館献堂式に臨まれそのお話あり。後經濟談をなし相變らず部長の新案料理のお話有益に承る四時散會、十二名出席。

大正九年正月十日午後一時半向井町片町基督教會にて第一回例會を親睦を兼ねて催す。山路姉司會二十分は祈禱國の時間として傳道部長大久保姉司會にて事業の爲二三の祈りあり。

此日没禮教會の高田氏わざわざ來會され世にも不幸なる氣の毒なる人々のある事を紹介されたり。同氏は水戸市役所の衛生課に勤められ貧民の取調べをなさるゝ由、日曜學校生徒のクリスマスの捧げ物を其人々に餅と野菜と共に分けし時は涙をこぼして感謝せられし事などお話あり。

次に事務に移りて報告あり。支部長は此年の標語として詩篇四〇五を示し、此後は一層努力する必要あるとて七ヶ條を選出して全員に貫撤するやうすゝめられたり。三時に例會を終り親睦會に移る、交際部長小室、田所兩姉の熱心なるお骨折によるお茶を頂き乍ら遠く別れ居る會員諸姉のお便りをきく。礒山姉の感想談等あり此日出席者十七名、江川姉の温きおもてなしを心より謝す。

平川梅子

Digitized by Google

Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

□□財務部報告□□

會計書記　千本木道

皆様に御助力を願ひました賛助員は今日迄左の諸兄姉の御申込みを得ました。厚う御禮申上げます。

賛助員氏名　（ＡＢＣ順）

金参圓也　浅田みか子殿（赤坂）
金参圓也　阿部たみ子殿
金五圓也　秋山　清子殿（赤坂）
金参圓也　福田ろく子殿
金参圓也　藤村　幸子殿（峰山）
金参圓也　福永　春子殿
金参圓也　ガントレット恒子殿（東京）
金参圓也　後藤　輝子殿（長崎）
金参圓也　平山千代子殿（唐津）
金参圓也　原口ふさ子殿（芝）
金参圓也　林　修治　殿
金拾圓也　廣瀬　艶香殿（芝）
金拾五圓也　服部きみ子殿（名古屋）
金参圓也　萩原五百枝殿（水下）
金参圓也　日能てる子殿（相州）

金参圓也　濱田政次郎殿
金参圓也　井深　花子殿（芝）
金参圓也　板倉　梅子殿（麹町）
金参圓也　石神八重子殿（大阪）
金参圓也　伊藤きん子殿（牛込）
金参圓也　伊藤こみ子殿（芝）
金参圓也　板倉　中正殿（富山）
金参圓也　池田きくえ殿（長崎）
金参圓也　市橋のま子殿
金参圓也　石田　亀一殿（下関）
金参圓也　岩上まま子殿（相州）
金参圓也　岩上はな子殿（相州）
金参圓也　久布白落實殿（千駄谷）
金参圓也　川崎　正子殿（麹町）
金参圓也　木村　亀井殿（赤坂）
金参圓也　小崎千代子殿（赤坂）
金参圓也　小橋三四子殿（東京）
金参圓也　小林喜久子殿（静岡）
金参圓也　川上さきわ殿
金参圓也　幸野　氣和殿（峰山）
金参圓也　小泉しづ子殿（熊本）
金参圓也　癸　文　部
金参圓也　横谷　君子殿
金五圓也　久布白庄次郎殿
金参圓也　守屋　東　殿（千駄ヶ谷）

金参圓也　宮川　静枝殿（麹町）
金参圓也　皆川せき子殿（神田）
金参圓也　村岡　花子殿（甲府）
金参圓也　松田さく子殿（峰山）
金参圓也　松本　幸子殿（熊本）
金参圓也　岡島あい子殿
金五圓也　南登　女子殿
金参圓也　百木みや子殿
金参圓也　水田まさ子殿
金参圓也　野澤　愛子殿
金参圓也　根本さく子殿（芝）
金参圓也　根本いよ子殿（芝）
金参圓也　二階堂みよ子殿（千駄ヶ谷）
金参圓也　直木　静枝殿（神戸）
金参圓也　中津　宗子殿（熊本）
金参圓也　中津喜満子殿（熊本）
金参圓也　那須つる子殿
金参圓也　野村　小友殿（峰山）
金参圓也　奈倉たけ子殿（山口）
金参圓也　西岡みか子殿（下関）
金参圓也　大橋　房子殿（東京）
金参圓也　大島　春野殿（名古屋）
金参圓也　奥　きく子殿（長崎）
金参圓也　岡山さし子殿
金参圓也　千本木道子殿（千駄ヶ谷）

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

金參圓也　島田　信子殿（麹町）
金參圓也　佐藤りう子殿（芝）
金參圓也　瀬川　壽郎殿（富山）
金參圓也　佐々木民子殿（千駄ヶ谷）
金參圓也　坂口はつ子殿（靜岡）
金參圓也　鈴木のぶ子殿
金參圓也　佐久間菊枝殿（峯山）
金參圓也　山東　楽子殿（赤坂）
金參圓也　角谷かれ子殿（赤坂）
金參圓也　杉本さき子殿
金參圓也　駁田久五郎殿（吳）
金拾貳圓也　佐藤ふみ子殿
金參圓也　篠山らく子殿（東京）
金參圓也　辻　濱子殿（麹町）
金參圓也　田口　竹子殿（赤坂）
金參圓也　高橋　爲子殿（靜岡）
金參圓也　谷口ちゑ子殿（峯山）
金參圓也　笹川　順子殿（長崎）
金參圓也　田所つる子殿（長崎）
金六圓也　高田　輝子殿
金參圓也　竹上　正子殿（麹町）
金參圓也　十時きく子殿（吳）
金五圓也　田村ゑい子殿
金參圓也　高階　菊子殿（門司）
金參圓也　田尾　要殿（下關）

金參圓也　海瀬かめ子殿（赤坂）
金參圓也　ウヰンテル夫人（熊本）
金參圓也　和田たか子殿（赤坂）
金參圓也　矢島　楫子殿（麹町）
金參圓也　吉村千代子殿（峯山）
金參圓也　後藤かほる殿（千駄ヶ谷）

大正九年一月末　以上

□□基本金□□

大正六年度

金五圓也　川崎花子殿
金拾圓也　小石川支部
金拾圓也　神戸支部
金七圓五拾錢也　鹿兒島、熊本、若松、福岡、長崎
金參圓也　西岡みか殿
金拾五圓也　高原儀珍殿

計金五拾圓五拾錢也

大正七年度

金貳拾圓也　三十一回記念會の時

大正八年度

金貳拾圓也　大島やす子殿
金拾五圓也　寺井辰子殿

金壹千圓也　廣岡惠三殿
金五圓也　川崎正子殿
金貳拾圓也　中野鐵平殿
金拾圓也　渡邊ちい子殿
金拾圓也　渡瀬香芽子殿
金拾圓也　井上榮子殿
金貳圓貳拾錢也　石塚いよ子殿
金壹千圓也　原　とみ子殿
金五圓也　波多野秋子殿
金五圓也　山崎きく子殿
金五圓也　丹下まり子殿
金拾五圓也　東洋英和女學校禁酒軍
金四圓五拾錢也　九州帝國大學靑年會
金壹百圓也　今井信子殿
金拾五圓也　三輪イシ子殿
金拾圓也　海野てつ子殿
金五圓也　山田鍠子殿
金五圓也　高橋タマ子殿
金五圓也　無名氏殿
金拾五圓也　東洋英和女學校靑年部
金拾五圓也　伊勢崎支部
金參拾圓也　近澤侃殿

合計金貳千三百貳十六圓七十錢也

累計貳千參百九拾七圓貳拾錢也

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

electors indorsed the dry policy and defeated four propositions advanced by the liquor interests, designed to let down the barriers just a little in case the people refused to instate the traffic altogether.

It is worth nothing the fact that the women voted in these elections which may be one explanation for the overwhelming dry majorities.

* * *

In investing the Million Dollar Jubilee Fund of the National W. C. T. U., U. S., large provision is made in the interests of world prohibition. The sum of $ 300,000 is to be expended during a term of 5 years. Of particular interest to the Far East is the sending of two Temperance Secretaries to China and the founding of the Yajima scholarship for 5 years in the Christian Woman's Union College, Tokyo.

* * *

The Work In Japan

On January 5, our National W. C. T. U. Headquarters entertained some 60 Oriental students studying in Tokyo. There were representatives from the Phillipines, Burma, Persia, India, China, Korea, Formosa, Japan Proper. Among the Japanese were students from the Imperial University, Waseda, Medical School, Keio, and the Railroad School.

A very pleasant, helpful evening was spent.

* * *

Petitions which the W. C. T. U. are supporting, are being sent to the Diet asking that women be allowed to enter the Koto Gakko and also to attend political meetings.

* * *

An effort is being made to have Temperance instruction introduced into the public school text-books.

* * *

Beer-drinking is becoming very general in Japan. This is greatly to be deplored. There is strong scientific testimony to its harmfulness. Mr. T. B. Macauley, President of the Sun Life, states a practical business truth, drinkers have not merely a heavier mortality than total abstainers, but heavier than strictly moderate spirit drinkers. This is well realized in Life Assurance."

E. A. Preston.

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

Mrs. Hillis, vice-president of the National Congress of Mothers, was the originator of and prime mover in securing the Child Welfare Research Station in connection with the Iowa State University, for which the National W. C. T. U., U. S. made an appropriation.

In speaking at the National Convention held at St. Louis, in November, she said, as follows:

"I am the happiest woman in this convention today," said Mrs. Hillis "because it seems to me you have granted the long cherished hope of my heart—the thing for which I had been working for years—to have some great organization find out what narcotics, stimulants and poisons of all sorts do to the little children through inheritance and the other social conditions which make for the loss of our common humanity. Now, as a result of your generous appropriation, we have secured the services of a wonderful scientist and a beautiful spirited man to carry on this research work. Dr. Baldwin, who is to have charge of the work, is a man in his early forties, of Quaker ancestry, with a mother who was a Crusader, and who taught him to love the Woman's Christian Temperance Union. When about a week ago I was in conference with him at luncheon concerning this matter, I noticed that he seemed overcome with emotion. He said, "Excuse me, but you know my mother was a Crusader, and that her son should be called to do this for the W. C. T. U. and to consecrate his talent and training for this definite work for *her* organization I count to be one of the greatest privileges of my life. I promise to give to it the best that is in me."

"I wish you could realize what it means for a great scientist to go into this work, to study your and my problems, and find out what poisons do to the human system; how they affect the physical, the mental and the moral forces. Just as physicians learned how to deal with disease, so will modern applied science find the virus that is eating into the social body and help us to apply the antidote where it is most needed."

* * *

Notes In General

The World's W. C. T. U. Convention is to be held in London, England, April 18-23.

* * *

The province of Ontario, Canada, after a three years trial of prohibition, on October 20 by a 2-to-1 vote of the

Digitized by Google Original from UNIVERSITY OF CALIFORNIA

診察——毎朝毎夕(但祭日及日曜の他)
院長診察月、木、金午前及木午後六時
林、峯間兩副院長は目下當院に在勤
東京麴町區三番町三十番地(市ヶ谷見附內)
電話番町 六二番 五一六番

東洋內科醫院

院長 醫學博士 高田畊安

電話ちがさき二番

南湖院

神奈川縣茅ヶ崎海濱(從停車場半里)
河野高橋兩副院長は目下當院に在勤
院長診察土曜日午後、入院診後應需
診察毎日午後(但祭日及日曜の他)

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA

婦人新報第二百七十一號（第三種郵便物認可）（毎月一回發行）【本號一部定價金九錢】

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF CALIFORNIA